



# 演奏者

## 加野景子 (かのえいこ) / ヴァイオリン

4歳より才能教育にてヴァイオリンを始める。

11歳で日本学生音楽コンクール小学校の部西日本大会1位。この時に審査員を務めていたヴァイオリニスト辻久子氏より指名を受け、翌年辻久子の半生を描いたドラマ“弦鳴りやまず”(毎日放送、龍村仁氏監督)において久子の幼少時を演奏共に演じ、好評を博す。14歳の時、音楽界の巨匠アイザック・スターン氏のマスタークラス(ソニー主催)においてスターン氏から絶賛され、翌年も同マスタークラスに招待を受ける。

15歳、東京芸術大学音楽学部付属音楽学校入学。

在学中に、音楽家の登竜門ともいわれる第57回日本音楽コンクールにて第2位、併せて海外派遣のための黒柳賞を受賞。同じく在学中に第4回日本国際コンクールにて第3位受賞。18歳、東京芸術大学音楽学部入学。アサヒビール、ロームミュージックファンデーションより奨学金を受け、19歳で渡英、23歳の時、フォーバルスカラシップ選考会にて優勝、名器ストラディヴァリウスを貸与される。

1999年、居を英国から米ニューヨークに移し、Manhattan School of Musicにて奨学金を受け

Bachelor 及び Master Degree in Orchestra Performanceを修了、2006年よりAlbany Symphonyのアシスタントコンサートマスターを務める傍ら、2008年よりニューヨークフィルでレギュラーサブプレイヤーとしての演奏など、精力的に活動をしている。

## 西原理恵 (にしはらりえ) / ピアノ

武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。

ピアノを後藤みさ子、菊村潤隆、角丸幸子、井上幸恵、米良奈甫子、中野洋子、桑山恭子の各氏に師事。

アルバート・ロトピアノリサイタルでロト氏とピアノデュオ共演。

田中景子ヴァイオリンリサイタル伴奏出演。

奈良・下北山ヴァイオリンセミナー伴奏者。

小林市主催ハレルヤコンサート運営・出演。

韓国での日韓親善ピアノコンサート出演。

マリンバ奏者・吉岡孝悦氏の伴奏として九州・沖縄の学校コンサートに出演。

「ふるさとを歌声の響くまちに」の思いのもと、小林市ジュニアコーラスを設立し、歌う子供たちの育成をライフワークとしている。

また、小林市女性コーラス、みやまコーラスの指導、コールりんどうの伴奏もつとめる。

小林市音楽協会会員。

# Program

1. クライスラー : 愛の歓び
2. クライスラー : 愛の哀しみ
3. テレマン : 12のファンタジーより
4. クライスラー : レチタティーヴォとスケルツォ
5. パガニーニ : カンタービレ
6. ショパン : ノクターン
7. パラディス : シチリアーノ
8. バッハ : シャコンヌ
9. ヴュータン : ヤンキーDoodle
10. アンコール曲 バッハ独奏 アーメンゴレス